



# 共に前へ

佐世保市立日宇中学校  
学校だより No. 63  
発行日 R6.3.15  
発行者 中野 一史

～昨日までの自分（自分達）を超える～

- 【重点目標】めざす生徒の姿
- ・学ぶ楽しさを「自ら学ぶ力」につなげ、目標を立てて学習に取り組む生徒
  - ・日宇中PRIDEを自覚し、やるべきことに、我慢強く、最後まで取り組む生徒
  - ・みんながリーダー・みんながフォロワーとしてより良い学校・学級づくりに取り組む生徒
  - ・自らの進化・成長に向け、「いのち」を輝かせて諸活動に取り組む生徒

○日宇中ホームページアドレス

<http://www.city.sasebo.ed.jp/jh-hiu/>



## 令和5年度「最終章」から「新たなステージ」へ

昨日、186名の卒業生が慣れ親しんだ学舎を巣立っていき、心の寂しさを感じています。いよいよ来週末の修了式をもって、「令和5年度の幕」を閉じます。心を込めて3年生を送り出した卒業式を終え、1・2年生の一人ひとりが「新たなステージへの想い」を高めていることだと思います。次は「君たちの番」です。皆さん一人ひとりが日宇中を引っ張っていかねばなりません。みんなで力を合わせ、日宇中の「新たなページ」を創っていきましょう！！

## 第77回卒業証書授与式から

3月14日(木)、「第77回卒業証書授与式」を無事に挙行することができました。この日は、梶山哲男PTA会長様をはじめご来賓の皆様、並びに3年生保護者の皆様のご臨席を賜り、厳粛かつ整然とした中で執り行うことができました。式では、送辞や答辞、呼名の返事、式歌「旅立ちの日に」「大切なもの」の歌声など、心を込めた想いが伝わってくるような「感動ある卒業式」となりました。

各学級の代表者に証書を授与した後、私(校長)から式辞の中で、卒業生に向け、『原点と個性』という言葉を贈りました。

### ○『原点と個性』

卒業生の皆さんには、この「原点と個性を大切にし、自らの道を切り拓いてほしい」と願っています。

ここで言う「原点」とは、「自分の目標や自分の目指す道」であり、「個性」とは「自分のよさや自分らしさ」のことです。

この「原点と個性を大切にしている」のが、トヨタ自動車の会長である豊田章男さんです。豊田章男さんは、創業家に生まれましたが、常に「トヨタの御曹司」という目が自分についてまわりました。「一人の人間として、トヨタと人生を歩みたい」、「自分を見つける」ために、あえて下積みからの道を歩んだそうです。

入社後も苦労はありましたが、「自分を一人の人間」と見てくれる人との出会いをとおして、自分の経営哲学となる「自分の目で見ると現場の人の声を聞くことの大切さ」を学んだと豊田さんは語っています。その後、現場から見た課題をもとに「トヨタの壁」を壊そうと変革や挑戦を続け、ついには社長に就任しました。

しかし、豊田さんが社長に就任した時、リーマンショックや世界規模でのリコール問題など、トヨタは経営危機、会社存亡の危機にありました。豊田さんは、そのような厳しい状況の中でも、トヨタらしさである「もっといいクルマをつくる」という純粋な想いを忘れず、そして必ずやり遂げるという信念のもと、一意専心、努力を続けました。

この豊田さんの「原点と個性を大切にし、真摯に真っすぐにもつづくりに向き合う。人間を愛し、社会のために尽くす。」という一途な想いと行動力が、周りの仲間を心で動かし、支えを受けたことで、あらゆる困難を乗り越えることができたのです。

豊田さんは後に、「何が起きるかわからない激動の時代、だからこそ、変えてはいけないうれしい軸と、未来のために今を変える覚悟を持つべきだ。自分と未来は変えられる。」と述べています。

これから皆さんが生き抜いていく社会は、予測困難な変化の激しい社会です。皆さんを待っている環境は、もしかしたら、期待しているような環境ではないかもしれません。「上手くいかない」「こんなはずじゃなかった」と思うかもしれませんが、ただ、その辛い境遇を憂っているだけでは、前には進めません。焦らず、自分の目標の達成に向けて一歩ずつ、できることから、心を込めてやっていくことが必ずや先につながっていくはずで

皆さんは「日宇中」で学び、人に喜んでもらうことの素晴らしさや、人の役に立つことの喜びを知っています。人を笑顔にするために自分にできる術を身につけているはずで

人とつながり、共に支え合って取り組むことの大切さを、身を持って経験しているはずで

それらは、君たちが前へ進むための「礎」となるものです。時には、辛く悲しく、壁にぶつかることもあるでしょう。そんな時は、日宇中で学んだことを思い出すとともに、勇気と希望を失わず、一步一步前を向いて、「明日への、そして未来への努力」を続けてほしいと思います。その「努力」を続けていれば、必ずあなたの周りで応援してくれる人、あなたを支えてくれる人に巡り会うことができ、道が拓けるはずで



### 『花は咲く』

できないことがたくさんあっても  
できることはある  
まわりの人が順調に見えても  
自分の道がある  
ダメなところがあるから  
良いところが輝き  
つらいことがあるから  
喜びが感じられる  
できることを続ければ  
いつしか花は咲く



祝辞では、梶山PTA会長様から、『目標を持ち、挑戦することの大切さ』について、はなむけの言葉をいただきました。

大切にしてほしい3つのこと。

○行動

→行動すると結果がついてくる。それはつらい結果かもしれない。だから行動を起こさないことが多々ある。これでは成長できない。行動することによって経験を積んでほしい。チャレンジすることを恐れないでほしい。

○出会い

→日宇中で出会った仲間は、出会うべくして出会った大切な仲間。縁がないと人は出会うことはできない。この出会いを大切にしてほしい。

○出来事

→人は何かの出来事に必ずぶつかる。それは良いこともあれば悪いこともある。そのよし悪しをすべて運次第ということとはできない。自ら行動することが大切で、行動したことが歩んだ道となる。苦しいことも悲しいこともいつか振り返った時に、あの出来事があったからだと思うことができるはず。

「送辞」を2年生の川田龍輝くんが在校生を代表して述べました。先輩たちとの思い出や感謝の気持ちを語るとともに「先輩方の意志を受け継ぎ、更に日宇中学校をより良いものにしていきます。」と力強く約束しました。



「答辞」を中島悠翔くんが卒業生を代表して述べました。中学校3年間を振り返りながら、自分を支えてくれた先生、家族、後輩、そして仲間への「感謝の想い」を心を込めて伝えました。

答辞

一雨ごとに春の色が濃さを増し、寂蒔の中で開花を待つ桜の息吹が感じられる今日、私たち186名は卒業の日を迎えました。ご多用の中、ご臨席をいただきましたご来賓、保護者の皆様、先生方、在校生の皆さん、誠にありがとうございます。目を閉じると日宇中学校で過ごした日々が昨日のこのように鮮明に蘇ってきます。

3年前、あふれんばかりの不安と期待を抱えながら見たクラス分け発表では、見慣れない名前がたくさんありましたが、3年後の今、多くの友達と巡り会えたことに幸せを感じています。

1年生での野外宿泊学習では、オリエンテーリングなどの様々な活動を通して自然と共生することの大切さを知り、友達と協力して成し遂げた達成感も味わうことができました。

初めて「先輩」と呼ばれる立場になった2年生。新型コロナウイルスの影響により、職場体験学習を行うことはできませんでしたが、多種多様な場で働かされている方々の話を聞かせていただいたり、自分たちがなりたい職業についてスライドにまとめて発表したりしながら、働くことの厳しさと自分らしく生きる意義を学びました。また部活動では、引っ張っていく立場になり、なかなか上手いかわからないこともありましたが、日々目標に向かい、あきらめずに仲間と切磋琢磨し合えたことは、一生に一度の大切な思い出です。

伝統を受け継ぎ、最高学年として日宇中学校を引っ張っていく立場となった3年生。一つ一つの行事があつという間に中学生最後のものとなっていきました。風薫る5月。暑い日差しの下、何度も何度も練習を繰り返し、各ブロックが優勝を目指した体育大会。応援

団長を先頭に、皆が闘志を燃やして全身全霊で取り組んだ応援。力強く、磨き続けた日宇中ソーラン節など、一致団結して感動の体育大会をみんなで創り上げることができました。

貴重な体験をし、非日常として唯一無二だった修学旅行の3日間。クイズやカラオケで笑いの渦となっていたバスの中。自然の雄大さを目の当たりにした阿蘇大観峰展望台、普段なら見ることでできない動物と触れ合えたアフリカンサファリ。たくさんのアトラクションを友達と満喫したグリーンランド。一日一日が刹那に過ぎていきながらも最高に楽しく、かけがえのない思い出となりました。

この3年間で私たちは心も体も大きく成長することができました。それはたくさんの方々のおかげからです。どんなときも傍で寄り添ってくださった先生方、これから社会に出ていくために厳しく指導を受けたことも、私たちが進路や人間関係で悩んでいたとき真摯になって相談に乗ってくださったときも、今日までにかけていただいた数々の言葉に何度も救われました。決して私たちを一人にせず、見守ってくださった先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。お世話になりました。

お父さん、お母さん、学校での楽しかったことも大変だったこともたくさん聞いてくれました。どんなときでも私たちのことを第一に考え、深い愛情で包み込んでくれて本当にありがとう。これからも迷惑をかけることもあると思いますが、私たちの成長していく姿を変わらず一番近くで見てください。よろしくお願いします。

在校生の皆さん、部活動や学校行事などあらゆる場面で私たちを支えてくれてありがとうございました。皆さんはこれから最高学年として日宇中学校を引っ張っていく立場になります。これからたくさんのリーダーが生まれていくことでしょう。周りの人たちとの縁を大切に、助け合い、励まし合いながら自分たちをさらに高めていってほしいと思います。同じ目標に向かう仲間とそれをサポートして下さる先生方がいらっしやることを忘れずに、この日宇中学校の伝統、良さを受け継ぎ、これから素敵な思い出をたくさん作ってください。

そして3年間苦楽をともにしてきたみんな。1年生の頃から全然落ち着きがなくて怒られることも少なかつたけれど、学年が上がるに連れ、少しずつみんな成長していくことができましたね。すれ違ってもぶつかり合うこともあって、一緒に歩んだ道は決して楽なものではなかったけど、いつも一緒になって笑ったり、遊んだり泣いたりした日々が忘れられない思い出です。みんなに出会えてよかった。今まで3年間、本当にありがとう。

さあ、いよいよ巣立っていくときが近づいてきたようです。これから友達や先生方といつものように他愛もないことで笑い合ったり休み時間を一緒に過ごしたり授業を受けたり、見慣れた通学路で登下校したりすることは二度とできなくなってしまいます。しかし、今日、また少し成長しなければなりません。「前に進むとき」です。明日から私たちはそれぞれの道を行っていきます。その道中で上手くいかず、大きな壁に打ちのめされそうになることもあるでしょう。そんなときは日宇中学校で培ってきた経験と思い出を胸に、あきらめずに前を向いて乗り越えていきましょう。



最後になりましたが、皆様のご健康とご多幸、そして私たちの日宇中学校が今後も素晴らしい歴史を刻んで行かれますことを心よりお祈りして答辞といたします。

令和6年 3月14日  
卒業生代表 中島 悠翔